



Cross E
Holdings Co.,Ltd.

中期経営計画

2026-2028

2025年9月24日

Cross Eホールディングス株式会社

これまでの 歩み

1995

ハウステンボス・技術センター(株)を設立
ハウステンボスの施設部を分社化



ハウステンボス・技術センター株式会社

建設及び機械設置工事

ファシリティ・マネジメント

2017

西日本エンジニアリング(株)の全株式取得
事業ポートフォリオの拡大（産業用機械設置工事）



西日本エンジニアリング株式会社

建設及び機械設置工事

2022

Cross Eホールディングス(株)を設立
HD化によるグループガバナンス強化



純粋持株会社

2024

福岡証券取引所Q-Boardへ上場
長崎県に本社を置く唯一の上場企業

2025

共新電設工業(株)の全株式取得 2025/10/1付

事業ポートフォリオの拡大（電気工事・電気通信工事）



共新電設工業株式会社

建設及び機械設置工事

企業概要

会社名	Cross Eホールディングス株式会社
設立	2022年11月1日
代表取締役社長	松尾 貴
本社所在地	長崎県佐世保市ハウステンボス町5番地3
連結子会社	ハウステンボス・技術センター(株) 西日本エンジニアリング(株) 共新電設工業(株) (2025/10/1付)
従業員数	連結133名 (2025年9月時点)

事業エリア

★...事業所





Purpose

存在意義

思いやりの技術で笑顔あふれる日々を未来へ繋ぐ

成長の軌跡

■ 連結売上高
■ 連結営業利益

15年で

売上高 約**8.9倍**

営業利益 約**43.1倍**

の成長を実現

連結売上高
5,000
(百万円)

2025.9(見込)
売上高 4,560百万円
営業利益 560百万円

連結営業利益
1000
(百万円)

2,500

2010.9

売上高 514百万円
営業利益 13百万円

創業

1995.9

2010.9

2011.9

2012.9

2013.9

2014.9

2015.9

2016.9

2017.9

2018.9

2019.9

2020.9

2021.9

2022.9

2023.9

2024.9

2025.9

ハウステンボス以外のファシリティ・
マネジメント業務拡販

西日本エンジニアリング(株)
のグループイン

Q-Board
上場

事業概要



建設及び機械設置工事

建築・設備工事



- ・ 新築・改修工事
- ・ 設備改修及び更新
- ・ 一級建築士事務所



機械器具設置工事

- ・ 機械器具設置工事
- ・ メンテナンス



電気・電気通信工事

- ・ 電気工事
- ・ 電気通信工事

ファシリティ・マネジメント



- ・ 設備管理
- ・ 修繕・営繕
- ・ 指定管理者
- ・ 別荘地区管理

長年の顧客対応で培った 現場遂行力

創業
30th



ハウステンボスの
多種多様な建物・施設群の
工事・維持管理対応等で
培った**ワンストップ**での
対応力

創業
40th



一般廃棄物プラント施設の
運転効率を見据えた
新設・修繕工事の対応力

創業
80th



長崎地場の官公庁向け
電気工事で培った
技術力・施工力

強固な顧客基盤と 分散した事業ポートフォリオ



ハウステンボスを中心に
公共施設、民間施設
(ホテル・工場等)の
幅広い顧客基盤を構築



**主要な大手プラント
メーカー**との取引実績

官公庁との**元請**による
取引実績

異なる**3つの市場**で
顧客基盤を構築

外部環境の認識と当社グループの取組み

機会



ハウステンボスによる
施設の新設工事
・ **更新工事** 需要の継続

全国各地の
一般廃棄物プラント施設の
更新工事 需要の継続

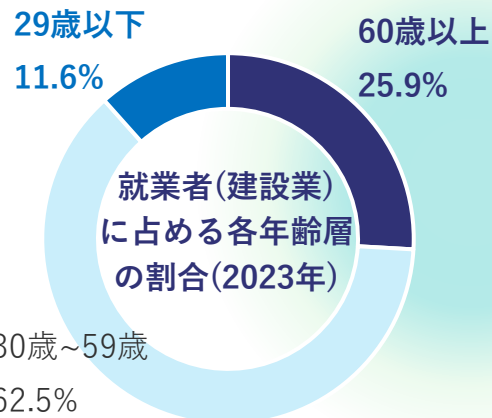


官公庁による各種施設の
更新工事 需要の継続



共新電設工業株式会社

脅威



60代以上の
建設業就業者が今後
離職することによる
人材難の深刻化
を想定

供給のキャパシティ（技術者）確保が需要獲得の鍵

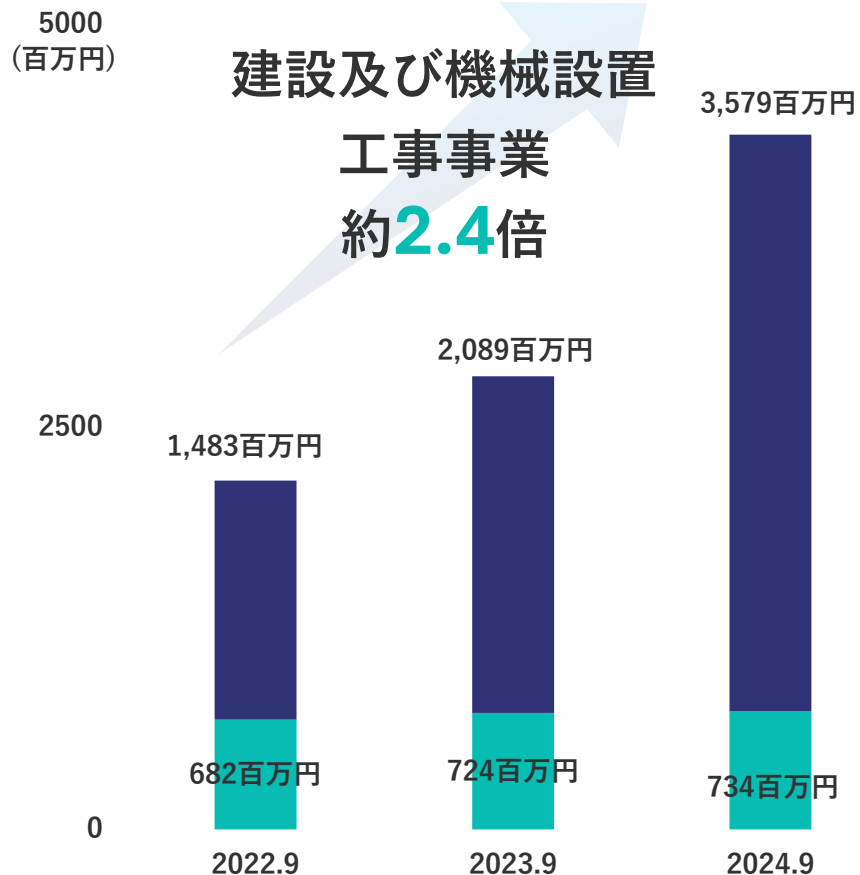
技術者の確保に向けた
取組み

- ・ 人材確保に向けた福岡証券取引所**Q-Board**上場による信用力の向上
- ・ 技術者を抱える企業の事業承継型M&A戦略の推進に向けた**HD化**によるグループガバナンス体制の整備

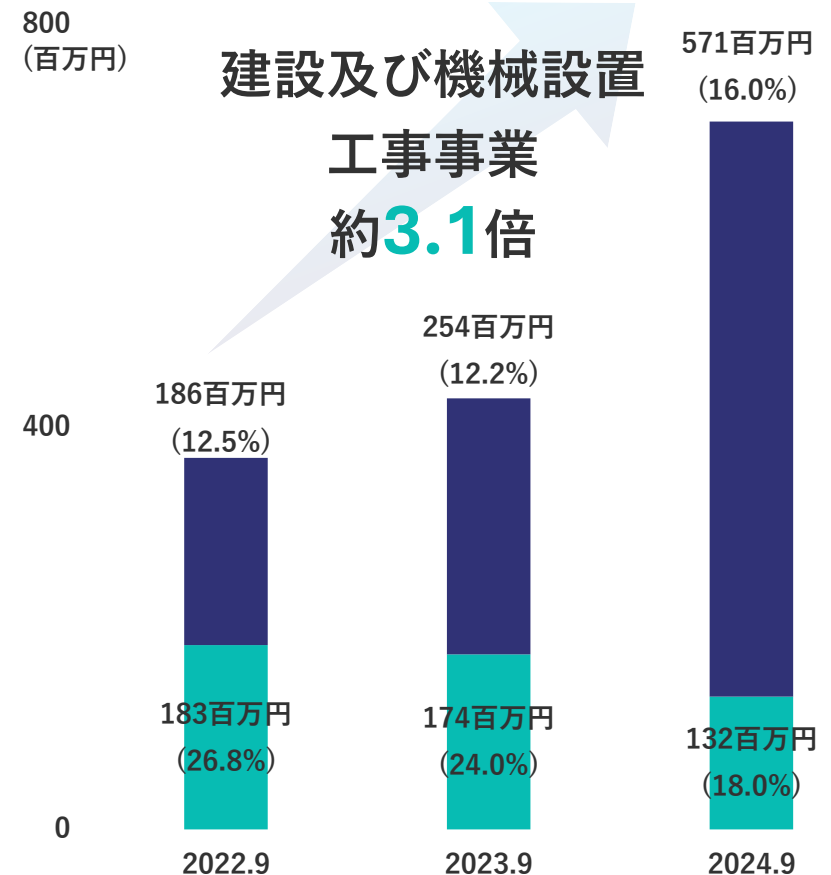
事業セグメントの 直近3年間の状況

- 建設及び機械設置工事
- ファシリティ・マネジメント

セグメント売上高



セグメント利益 (同利益率)

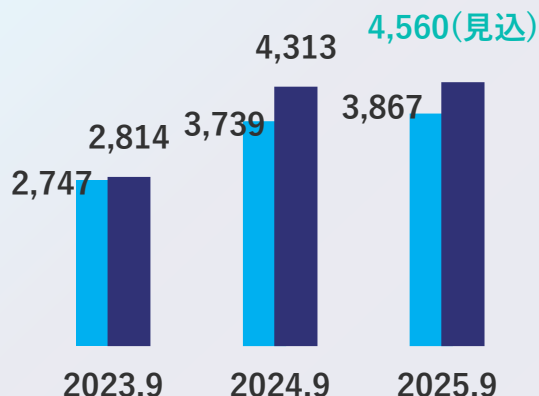


前・中期経営計画と実績

■ 前計画
■ 実績(2025.9は見込)

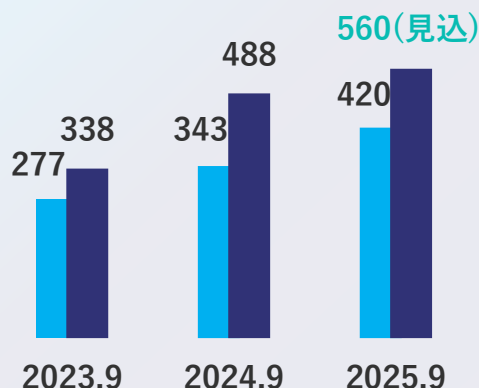
売上高

(百万円)

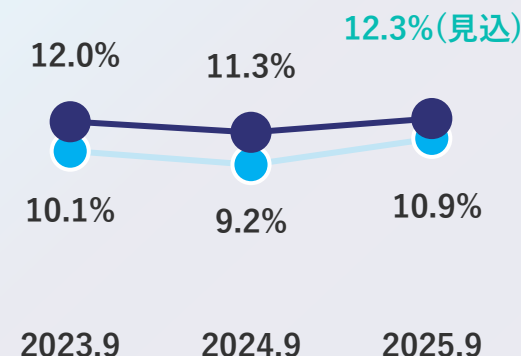


営業利益

(百万円)



営業利益率



- 福岡証券取引所Q-Boardへの上場を実現
- 上場による知名度及び信頼度向上によりグループ全体として目標を上回る人材確保を達成
- ハウステンボスからの大型アトラクション工事・更新工事の獲得
- 長期工事において追加工事の獲得

<グループ合計>

目標	実績
20名	25名
達成率	
125%	

新・中期経営計画の基本方針

基本方針



東証スタンダード上場

に向けた収益力強化と
環境整備

M & Aの推進

に向けた投資枠(24億円)
の設定

累進配当制の導入

による安定的な
株主還元の実現

技術者

採用の強化による
受注余力の拡大

新・中期経営計画の概要

新・中期経営計画の目標(2028.9期)

売上高 **6,500**百万円
(2025.9期見込：4,560百万円)

営業利益 **600**百万円
(2025.9期見込：560百万円)

ROE **10.0%**超
(2025.9期見込：12.7%)

事業

- **M&A**を主軸とした事業の地理的・業態的拡張

財務

- **成長投資**と並行して**株主還元**を**両立**する
キャピタルアロケーション

人的資本

- 一時的な損益下押しとなっても、**技術者採用拡大**による
受注余力の確保
- **幹部人材の育成**による次世代経営体制確立

株主還元

- 安定した株主還元を目的に**累進配当制**を導入

※累進配当制：配当額を減少させず、維持または増配を目指す取り組み

事業戦略

M&A方針

■ 現状の事業エリア



ハウスデンボス・技術センター株式会社

ロールアップ型
M&A



共新電設工業株式会社

事業ポートフォリオ拡大型
M&A



西日本エンジニアリング株式会社

ロールアップ型
M&A

事業戦略

子会社の戦略



建設及び機械設置工事



ハウスデンボス・技術センター株式会社

- ハウスデンボスのアトラクション投資・設備更新工事への対応
- 北部九州エリアの受注拡大



西日本エンジニアリング株式会社

- 一般廃棄物プラントの堅調な工事需要を取り込むための人員確保
- 防衛関係需要の取り込み



共新電設工業株式会社

- 官公庁からの公共工事の受注拡大
- 上記2社とのグループシナジーを活かした受注拡大

ファシリティ・マネジメント



ハウスデンボス・技術センター株式会社

- 有資格者の拡充による総合管理能力の拡大
- 総合管理受託契約先の拡大

財務戦略

キャピタルアロケーション

キャッシュの創出

営業キャッシュ・フロー
(純利益 + 償却費)
の創出

13.4億円

手元資金・有利子負債の活用等
資本効率最大化による資金調達

キャピタルアロケーション

事業投資

28.6億円

(成長投資 **24.6億円**)

- 共新電設工業の全株式取得
(**4.2億円**)
- 事業ポートフォリオ拡大型/
ロールアップ型M&A

(経営基盤投資 **4.0億円**)

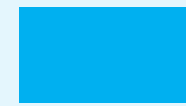
- 事業エリア広域化に向けた
関西地区の拠点整備
- 会計システム投資

株主還元

- 安定的な株主還元の実行

3.5億円

資本政策

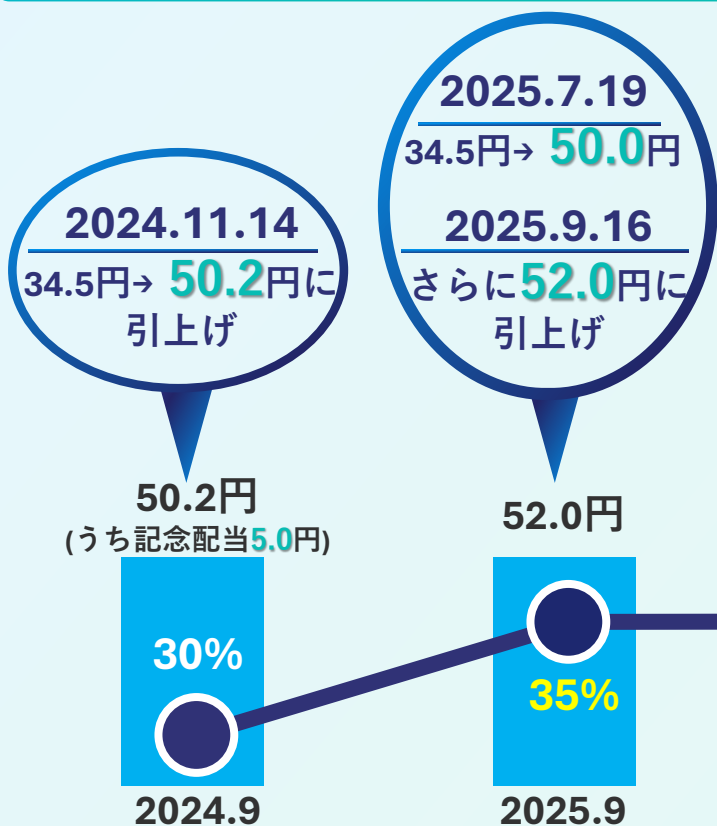


配当金
(1株当たり)



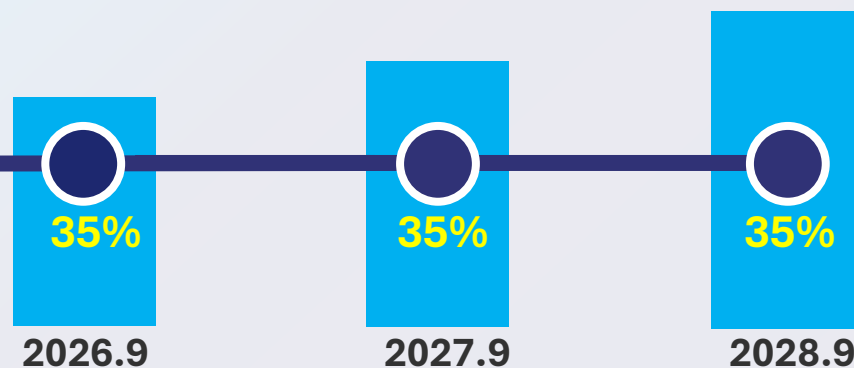
連結配当性向

過去に実施した資本政策



新・中期経営計画

- 安定配当を目的に、**連結配当性向35%**を目安として**累進配当制※**を導入します。



※累進配当制：配当額を減少させず、維持または増配を目指す取り組み

人材戦略

人材の確保・ 育成	グループ全社の技術者の採用数	24名 (3年間)
	グループ全社の入社3年以内の離職率	10%未満 (2028.9期)
次世代経営層 の育成	各事業子会社社長3名の次世代経営陣への承継	100% (2028.9期)
安全衛生への 取組み	グループ全社の死亡災害の発生案件	0件 (3年間)

取組み内容

- 事業成果配分等による社員エンゲージメントの向上
- 採用・育成を通じた世代交代の実現による次世代経営体制の確立
- 受注余力拡大に向けた技術者採用の拡大と研修・教育システムの再構築を通じた技術の承継

資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応

収益力の強化

- 事業承継型 M&Aの推進
- グループシナジーの強化
- 事業の強靱化(コストの価格転嫁等)

資本効率の向上

- 成長投資と安定的な株主還元を両立するキャピタルアロケーション

経営基盤の強化

- 技術人材の確保・育成
- 次世代幹部人材の育成

新・中期経営計画の目標
(2028.9期)

ROE **10.0%超**
(2025.9期見込：12.7%)

サステナビリティへの取組み

重点課題

1

地球環境の保全

2

人の集まる企業 &
多様な人材の活躍

3

革新的な技術開発
への支援

4

快適で安全に
暮らせる社会の実現

5

生活を豊かにする
技術と価値の創造

主な取組み内容

環境

- ファシリティ・マネジメント/一般廃棄物プラントの工事を通じて磨いた環境技術の更なる向上

社会

- 地元新卒採用による人員増と定着及び経済の活性化
- 「安全・工事品質の確保」の重視

ガバナンス

- 事業運営の大前提となる「コンプライアンス徹底」





Cross E
Holdings Co.,Ltd.